

DENON *PROFESSIONAL*

業務用ソリッドステートプレーヤー

DN-F300

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



指のケガに注意

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

安全上のご注意



● 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● この機器を設置する場合は、壁から7.5cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から7.5cm以上、背面から20cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



水場での使用禁止

● 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



警告

● 電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

● 表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器の開口部をふさがしないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があげてあります。次のような使い方はしないでください。



この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけた、じゅうたん、布団の上において使用する。

● この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。

● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



接触禁止

● 雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

安全上のご注意



警告



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



分解禁止

- この機器の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 製品に同梱しているACアダプターのみ使用してください。製品に同梱していないACアダプターは使用しないでください。



指のケガに注意

- お子様メディア挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



手を挟まれないよう注意



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ACアダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意



注 意



- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。必ずACアダプターを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書を添付しております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属の『製品の修理・サービス窓口のご案内』をご参照ください。

ステレオ音のエチケット



- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- 隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

1. 全般	2
特長	2
各部の名前とはたらき	2
2. 準備	6
設置	6
接続のしかた	6
3. 本体の操作	7
再生対象ファイルフォーマット	7
表示情報	8
通常の再生	9
いろいろな再生	10
プリセット機能と操作	13
4. トラブルシューティング	14
5. 主な仕様	15

資源回収に関する注意

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。梱包材はいずれも、お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めに従って処分してください。本体を廃棄する時は、お住まいの地域の規則または規制に従ってください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制に従って処分してください。本製品と同梱される付属品は、電池を除きWEEE(廃電気電子機器)指令の適用品です。



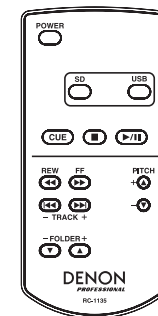
ご注意

音楽データ、ファイル等著作物は、著作権法その他の法規、または、お客様との間で締結される使用許諾契約に基づき、その複製や使用について制限されることがあります。複製等される前に、著作物ごとの条件を充分ご確認の上、本製品を適正にご使用くださいますようお願いいたします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負いません。

■ 付属品について

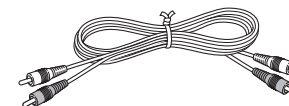
本体とは別に以下の内容物が同梱されているかご確認ください。

① リモコン(RC-1135)	1
-----------------	---

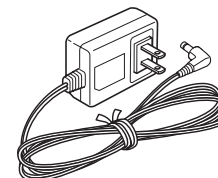


※ボタン電池(CR2025)内蔵

② RCAピンコード	1
------------	---



③ ACアダプター	1
-----------	---



④ フット	4
-------	---



⑤ フット取り付け用ネジ	4
--------------	---



⑥ 取扱説明書	1
---------	---

1. 全般

特長

■ 業務用ソリッドステートプレーヤーの標準機能搭載

- SDカード/SDHCカードの音楽ファイルの再生(7ページ参照)
- USB端子に接続した各種メディアの音楽ファイルの再生(7ページ参照)
- WAV、MP3(MPEG-1 Layer III)をサポート(7ページ参照)
- MP3のID3タグを表示(8ページ参照)
- ジョグダイヤルを使った軽快なトラックサーチ(9ページ参照)
- 再生開始位置に戻るCUE機能(12ページ参照)
- レベル調整付きヘッドホン出力(2ページ参照)
- レベル調整付きマイク入力(フロントパネル1系統、リアパネル1系統)(2,3ページ参照)
- レベル調整付きアナログオーディオ出力(アンバランス)(2,3ページ参照)
- マイクを使用するとき、再生中のオーディオの出力レベルを自動で20dB下げるページング機能(13ページ参照)
- マイクを使用するとき、マイク入力レベルが -60dBV 以下のときに自動でマイク入力をミュートするマイクミュート機能(13ページ参照)
- 電源をオフにするとき、各種設定を記憶するユーザーメモリー機能(8,9ページ参照)
- Lch、Rchの出力端子から両方のチャンネルをミックスした信号を出力するモノラルオーディオアウト機能(13ページ参照)

■ さまざまな再生方法

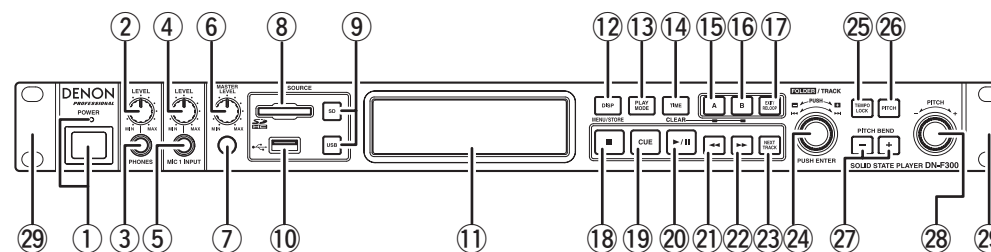
- 0.1%ステップ $\pm 20\%$ 可変ピッチコントロール(12ページ参照)
- ピッチコントロールによる音程変化を補正し、通常の音程に戻すテンポロック機能(12ページ参照)
- 各種再生モード(全曲再生、フォルダ全曲再生、シングルトラック再生、ランダム全曲再生、ランダムフォルダ再生)(10ページ参照)
- リピート機能(A-B区間設定、および各種再生モード)(11ページ参照)
- オートキュー(オートオーディオレベルサーチ)(13ページ参照)
- パワーオンプレイ(13ページ参照)
- ネクストトラックリザーブ再生(12ページ参照)

■ 19インチ 1Uラックマウント対応

■ 赤外線リモコン(RC-1135)付属

各部の名前とはたらき

フロントパネル



① POWERスイッチ/インジケーター

- 電源を入/切します。
- 電源が入るとインジケーターが点灯します。

② LEVEL(ヘッドホン音量調整)つまみ

- ヘッドホンの出力レベルを調整するときに使用します。
- つまみを押し、つまみがとび出してお好みのレベルに調整することができます。調整が終わりましたら、再度つまみを押し込んでください。

ご注意

- ヘッドホンを使用する時は、音量を上げすぎないように注意してください。大音量で長時間視聴すると慢性的な聴覚障害を引き起こすことがあります。

③ PHONES(ヘッドホン)端子

- ヘッドホンを接続します。(ステレオ標準1/4"ジャック)

④ LEVEL(マイク音量調整)つまみ

- マイクの入力レベルを調整するときに使用します。
- MIC 1、MIC 2を同時に調整します。
- つまみを押し、つまみがとび出してお好みのレベルに調整することができます。調整が終わりましたら、再度つまみを押し込んでください。

⑤ MIC1 INPUT(マイク入力)端子

- マイクを接続します。(モノラル標準1/4"ジャック、ダイナミック型マイクロホン)

⑥ MASTER LEVEL(音量調節)つまみ

- オーディオ出力レベルを調整するときに使用します。
- つまみを押し、つまみがとび出してお好みのレベルに調整することができます。調整が終わりましたら、再度、つまみを押し込んでください。

⑦ リモコン受光部

⑧ SDスロット

- SDカードのラベル面を上にしてスロットに挿入します。

⑨ SD/USB入力ソースセレクトボタン／インジケータ(SD:緑色、USB:橙色)

- 入力ソースを選択します。

⑩ USB 端子

- USB デバイスを接続します。(9ページ参照)

⑪ 表示部

⑫ DISP/MENU/STORE ボタン

- テキスト表示モードを切り替えます。(8ページ参照)
- 2秒押し続けると、プリセットメニューモードに入ります。(13ページ参照)

⑬ PLAY MODE ボタン

- トラックを再生するときのモードを切り替えます。(10ページ参照)

⑭ TIME/CLEAR ボタン

- 表示部の時間表示を切り替えます。(8ページ参照)
- このボタンを押しながらAまたはBボタンを押すと、A-BポイントまたはBポイントをクリアします。

⑮ A ボタン

- A-B区間のREPEAT再生の開始点(A点)を設定します。

⑯ B ボタン

- A-B区間のREPEAT再生の終了点(B点)を設定します。

⑰ EXIT/RELOOP ボタン

- EXIT: A-B区間REPEAT再生を解除します。
- RELOOP: A-B区間REPEAT再生を再スタートします。

⑱ ■ ボタン

- 再生を停止します。
- プリセットメニューを設定中に押すと、入力をキャンセルし、停止モードに戻ります。

⑲ CUE ボタン／インジケータ(橙色)

- 再生中に押すと、直前の再生開始位置に戻るか、または次のトラックをNEXT TRACKボタンで予約しているときは予約したトラックの先頭に移動します。(12ページ参照)

⑳ ▶/|| ボタン／インジケータ(緑色)

- 再生を開始したり、再生を一時停止したりするときに押します。

㉑ ◀ ボタン

- ボタンを押し続けている間、早戻し再生をします。

㉒ ▶▶ ボタン

- ボタンを押し続けている間、早送り再生をします。

㉓ NEXT TRACK ボタン／インジケータ(橙色)

- 次に再生するトラックの予約をおこないます。

㉔ FOLDER/TRACK ジョグダイヤル

- ジョグダイヤルを回すと、トラックのスキップやメニューアイテムの変更をおこないます。
- ジョグダイヤルを押しながら回すと、フォルダのスキップをおこないます。
- ジョグダイヤルを押すと、メニューモードの設定内容を確定します。

㉕ TEMPO LOCK ボタンとインジケータ(橙色)

- 再生する音楽の音程をロックします。

㉖ PITCH ボタンとインジケータ(橙色)

- PITCHコントロール ON/OFFの切り替えをおこないます。

㉗ PITCH BEND +/- ボタン

- ボタンを押し続けて、再生スピードの調整をおこないます。ボタンから指を離すと元のスピードに戻ります。

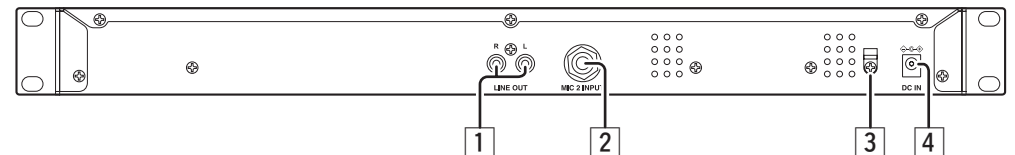
㉘ PITCH ジョグダイヤル

- ジョグダイヤルを回すと、再生スピードを調整することができます。

㉙ ラック取り付け用金具

- 19インチラックにマウントしない場合は取り外してお使いください。

リアパネル



① LINE OUT 端子

- RCA型ピンジャックを使用したアナログアンバランス出力端子です。

② MIC2 IN(マイク入力)端子

- マイクを接続します。(モノラル標準1/4"ジャック、ダイナミック型マイクロホン)

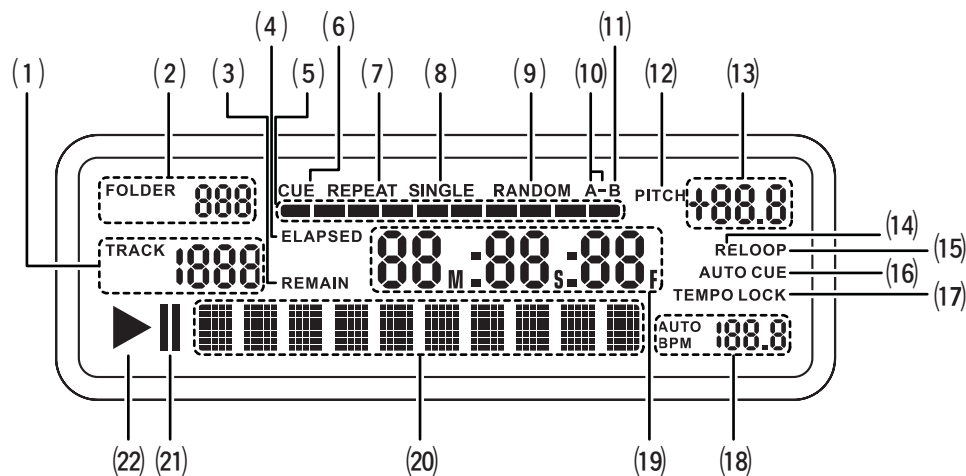
③ DC電源コードクランパー

④ DC電源入力端子

- 付属のACアダプターを接続します。

1. 全般

表示部



(1) トラック番号表示

- トラック番号を表示します。

(2) フォルダ番号表示

- フォルダ番号を表示します。

(3) REMAIN インジケータ

- 残り時間表示モードを選択したときに点灯します。

(4) ELAPSED インジケータ

- 経過時間表示モードを選択したときに点灯します。

(5) 再生位置表示

- 再生トラックの位置を表示します。

(6) CUE インジケータ

- CUE モードのときに点灯します。

(7) REPEAT インジケータ

- 再生モードがリピート再生のときに点灯します。

(8) SINGLE インジケータ

- 再生モードが SINGLE 再生のときに点灯します。

(9) RANDOM インジケータ

- 再生モードがランダム再生 (全曲ランダム再生、ランダムフォルダ再生) のとき点灯します。

(10) A ポイントインジケータ

- A-B 区間リピート再生で、A ポイントを設定すると点滅します。B ポイントを設定すると点灯に変わります。

(11) B ポイントインジケータ

- A-B 区間リピート再生で、B ポイントを設定すると点灯します。

(12) PITCH インジケータ

- ピッチコントロールを有効にしたとき点灯します。

(13) PITCH 設定値表示

- +/− の PITCH レベル (%) を点灯します。

(14) RE インジケータ

- RELOOP 中に点灯します。

(15) LOOP インジケータ

- A-B 区間リピート再生中に点滅します。

(16) AUTO CUE インジケータ

- AUTO CUE モードを ON に設定したとき点灯します。

(17) TEMPO LOCK インジケータ

- TEMPO LOCK を ON に設定したとき点灯します。

(18) AUTO BPM 設定値表示

- AUTO BPM を表示します。

(19) 時間表示

- 時間 (分、秒、フレーム) を表示します。

(20) テキスト情報表示

- フォルダ名、ファイル名、ID3TAG、ステータス情報を表示します。

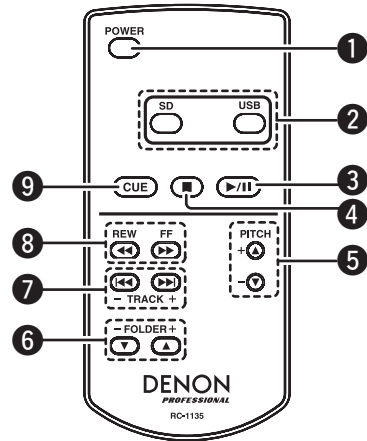
(21) PAUSE インジケータ

- 再生一時停止中に点滅します。

(22) PLAY インジケータ

- 再生中に点灯します。

リモコン (RC-1135)



① POWER ボタン

電源を入/切します。

② SD/USB 入力セレクトボタン

入力ソースを選択します。

③ ▶/|| ボタン

再生を開始したり、一時停止するときに押します。

④ ■ ボタン

再生を停止します。

⑤ PITCH +/- ボタン

再生速度を変えるときに押します。

⑥ FOLDER +/- ボタン

フォルダをスキップします。

⑦ TRACK +/- ボタン

トラックをスキップします。

⑧ FF/REW ボタン

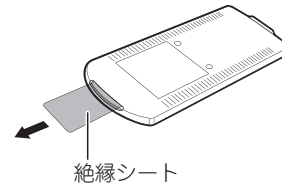
- 再生開始位置を移動するときに押します。
- ボタンを押し続けると、早送りまたは早戻しをします。

⑨ CUE ボタン

再生開始位置に移動するときに押します。

● リモコンを使用する前に

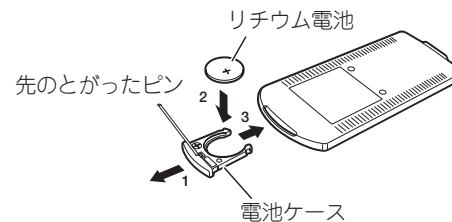
リモコンにはあらかじめリチウム電池が入っています。絶縁シートを引き抜いてご使用ください。



● 電池の入れ方

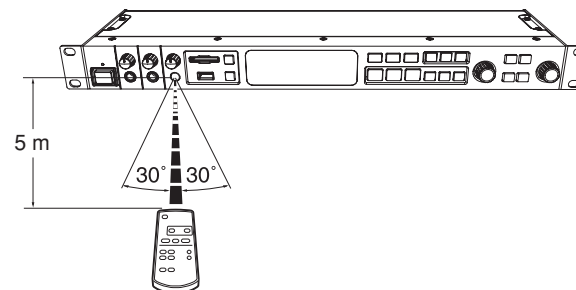
リモコンの電池が消耗すると、リモコンで本機を操作できる距離が極端に短くなります。このような場合、早めに新しい電池と交換してください。

1. 先のとがったピンなどを使って、電池ケースを引き出します。
2. 古いリチウム電池を電池ケースから取り出し、新品の電池を入れます。電池を入れる際、+ (プラス) を上向きにしてを入れてください。
3. 電池ケースをリモコンに装着します。



● リモコンの使用できる範囲

リモコンと本機の操作可能範囲は下図のとおりです。



使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で作動する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

● 電池の取り扱い方

リチウム電池の取り扱いを誤ると、発熱、発火、破裂などの原因になることがあります。使用中や交換する際は、以下の点に充分ご注意ください。

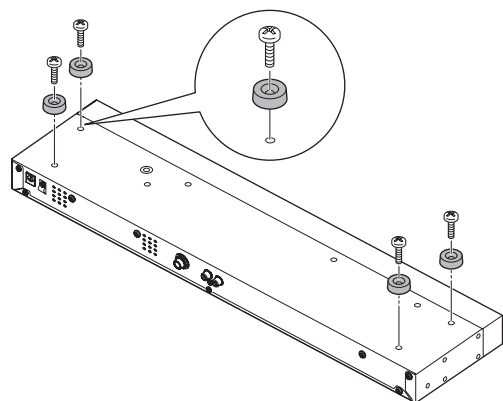
- 付属の電池はリモコンの機能性を確認するためのものです。
- CR2025型をご使用ください。
- 充電しないでください。
- 粗雑に扱ったり、分解したりしないでください。
- 電池を交換する際は、極性(プラスとマイナス)の向きを正しく装着してください。
- 直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。
- お子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- 液漏れしている場合はただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷するおそれがありますので、取り扱いには充分ご注意ください。誤って付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- 使用済みの電池を廃棄する際は、テープなどで絶縁し、地域の条例に従って火気のない場所に処分してください。

2. 準備

設置

■ ラックへの取り付け

- DN-F300は1Uサイズです。EIA規格の19インチラックに取り付けることができます。
- 本体の上部をカバーなどで覆わないようにしてください。熱はDN-F300の上部表面から放熱します。
- 設置環境にご注意ください。たとえば、他の装置からの熱がDN-F300に加わらないように設置します。
必要であれば強制空冷を行ってください。DN-F300の周辺環境は、15ページの“仕様”に記載された条件を満たしている必要があります。
- DN-F300をアンプやチューナまたは他の機器の近くに設置される場合、ノイズ(ハムノイズ)またはビート干渉が生じることがあります(特にAMまたはFM受信中)。干渉が発生する場合は、DN-F300を他の機器から離してください。
- ラックへ取り付けないときは、ラック取り付け用ブラケットを外し、付属のフットを取り付けてください。



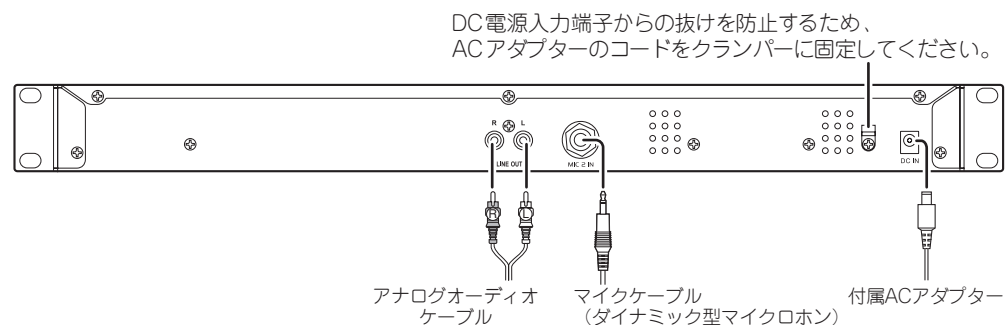
接続のしかた

■ オーディオ接続のご注意

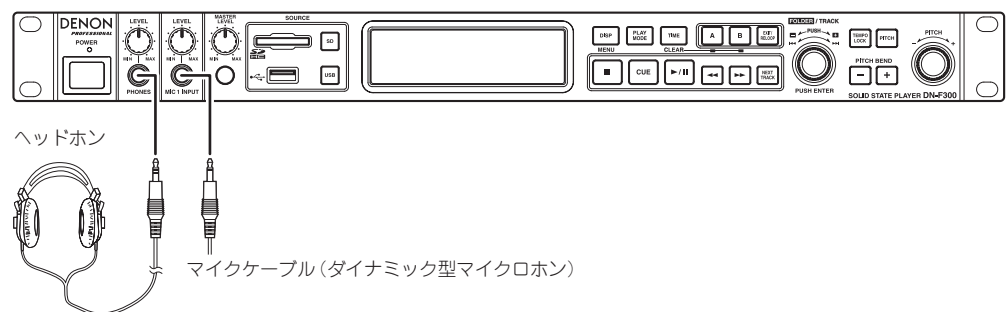
- 本機のケーブル接続およびACアダプターを抜き差しする場合は、すべてのシステム機器の電源をオフにしてから行ってください。
- アナログオーディオケーブルがL(左)とR(右)ジャックに正しく接続されているのを確認してください。
- プラグは端子にしっかり差し込んでください。
- 出力端子はアンプのCDまたはAUXなどのラインレベル入力ジャックに接続してください。

■ 基本接続

1. リアパネル



2. フロントパネル



ACアダプター接続のご注意

- 接続する前に、POWER ボタンをOFFの位置にしてください。
- ぬれた手でACアダプターに触らないでください。
- ACアダプターを抜くときはプラグを持っていることを確認します。コードを引っ張ったり曲げたりするとコードが損傷したり、感電や火事の原因になることがあります。

3. 本体の操作

再生可能ファイルフォーマット

■ PCM ファイルフォーマット

フォーマット	サンプリング周波数	ビット数	Channel	転送レート	ファイル拡張子
PCM	44.1kHz	16bit	Stereo	—	wav
			Mono	—	wav

■ MP3 ファイルフォーマット

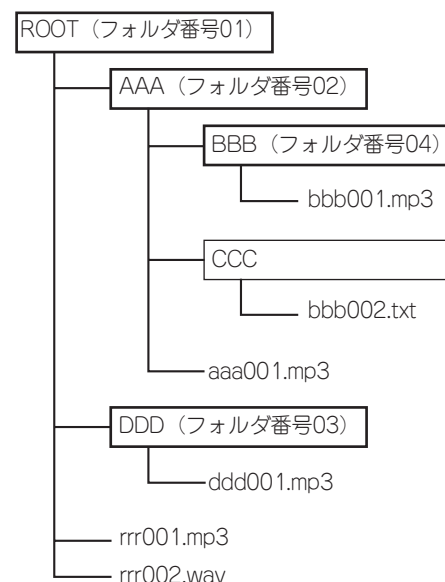
フォーマット	サンプリング周波数	ビット数	Channel	転送レート(kbps)	ファイル拡張子
MP3	44.1kHz	16bit	Stereo	32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 VBR	mp3
			Mono		mp3

■ フォーマット

メディア	論理フォーマット形式
SD	FAT16、FAT32
SDHC (最大32GB)	
USB メモリ	
USB HDD	

■ フォルダの階層構造とフォルダ番号、ファイル番号について

- フォルダ(ディレクトリ)は階層構造を持っています。
- メディアの中のすべてのファイルを検索したあと、DN-F300はすべてのオーディオファイルにトラック番号を割り当てます。たとえば以下のイラストのように、最初にそれぞれのオーディオファイルにトラック番号が割り当てられます。
- フォルダAAA、フォルダBBBとフォルダDDDにはオーディオファイルが含まれており、動作対象として選択できます。フォルダCCCはオーディオファイルが含まれていないので、動作対象外となります。



- 最大フォルダ数は999です。(ルートディレクトリを含む)
- 2000以上のファイルが存在する場合は、1～1999ファイルを再生します。2000以降のファイルは再生しません。
- フォルダレイヤーは9レイヤーです。(ルートディレクトリを含む)
- ファイル名はフルパスで63文字です。(英大文字、英小文字、数字、記号(FAT準拠))
- 再生対象ファイルの無いフォルダにはフォルダ番号はありません。
- 日本語のファイル名は対応していません。

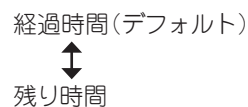
3. 本体の操作

表示情報

DN-F300にメディアを挿入すると、さまざまな情報を、表示部に表示します。

■時間表示

フォルダ番号、トラック番号、経過時間(残り時間)を表示します。
再生、ポーズ中のときは、**TIME/CLEAR** ボタンを押すたびに表示モードが次のように切り替わります。

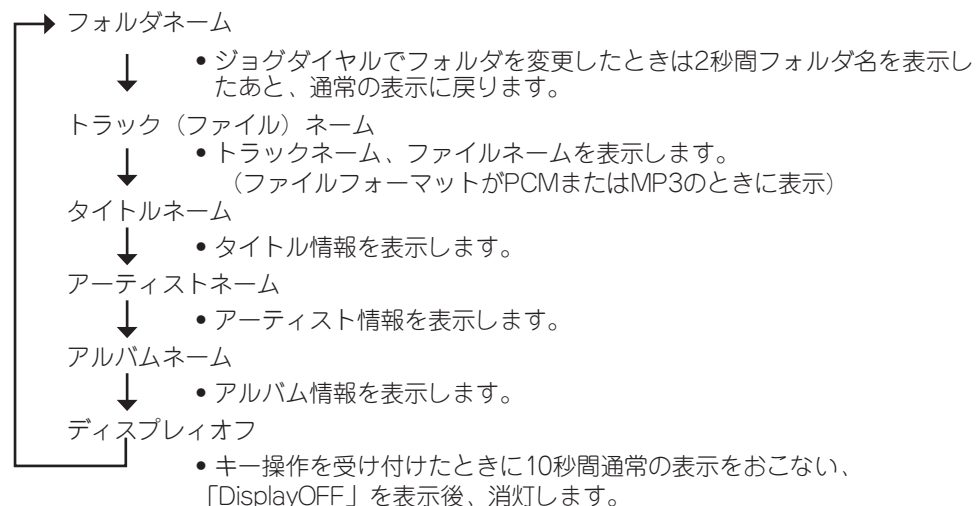


電源をOFFにすると、現在の時間モードを記憶します。再び電源をONにすると、記憶している時間表示モードで表示します。(ユーザーメモリー機能)

■テキスト情報表示

MP3ファイルが録音されたメディアがDN-F300に装着されると、時間表示に加えて表示部にいろいろな情報を表示します。この情報はMP3ファイルにID3タグとして記録されているものです。

再生、ポーズ、サーチのときに、**DISP/MENU** ボタンを押すと、押すたびにテキスト表示モードが次のように切り替わります。



電源をOFFにすると、現在のテキスト表示モードを記憶します。再び電源をONにすると、記憶しているテキスト表示モードで表示します。(ユーザーメモリー機能)

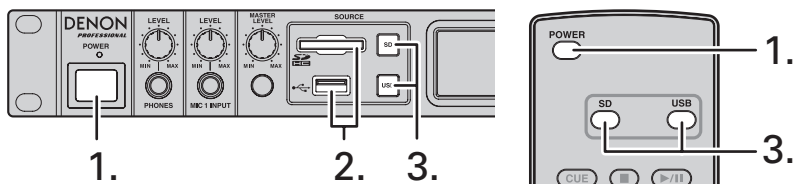
ご注意

- ID3情報が正しく記録されていないファイルを再生した場合、テキスト情報が表示されないことがあります。
- 日本語などの2バイト文字は正しく表示されません。

通常の再生

再生を始める前に

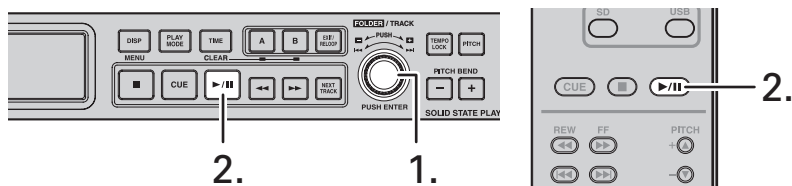
1. **POWER**スイッチを押して、電源を入れます。
POWERインジケータは、1秒間点滅してから点灯状態になり、表示部が全点灯します。
メディアの有無を検出し、有る場合は時間表示とテキスト情報を表示し、無い場合は「No Source」を表示します。



2. SDカードを再生するときはSDカードをSDスロットに挿入します。USBデバイスを再生するときはUSBデバイスをUSB端子に接続します。
3. 再生するメディアの入カソースボタン (**SD**または**USB**ボタン)を押します。
 - 入力ソースを選択するとソース内の全フォルダ数を2秒間表示します。その後、最後に再生したときの設定内容を表示をします。
(FAT16, 32以外のフォーマット時は「Unformat」を表示します。)
4. ご使用の目的にあわせて、プリセット機能を設定します。(13ページを参照)

再生のしかた

1. **FOLDER/TRACK**ジョグダイヤルを回して、再生したいトラックを選択します。
2. **▶/||**ボタンを押します。ボタンが緑色に点灯し、トラックの再生を開始します。



- **CUE**ボタンが点灯している状態で、**▶/||**ボタンを押すと、**CUEモード**(瞬時に再生を開始する機能)になります。(12ページを参照)

再生を一時的に停止するとき

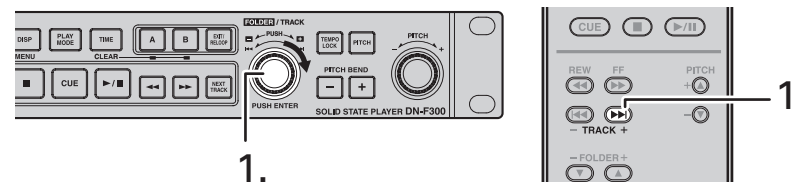
1. 再生中に**▶/||**ボタンを押します。
 - **▶/||**ボタンが点滅します。
2. 再生を再開したいときは、**▶/||**ボタンを押します。
 - 一時停止したポイントから再生を再開します。

再生の止めかた

1. 本体またはリモコンの**■**ボタンを押します。

再生の途中で次の曲に進むとき

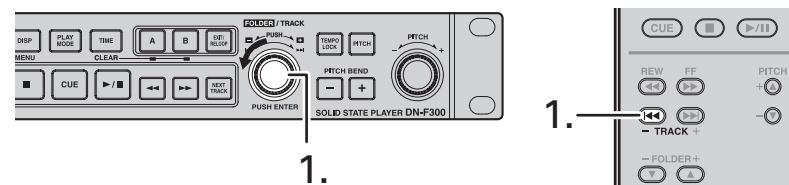
1. **FOLDER/TRACK**ジョグダイヤルを時計方向に回します。



- 次の曲の再生をします。

再生の途中で、聴いている曲の開始位置に戻るとき

1. **FOLDER/TRACK**ジョグダイヤルを反時計方向に回します。



- 聴いている曲の開始位置に戻り、再生をします。

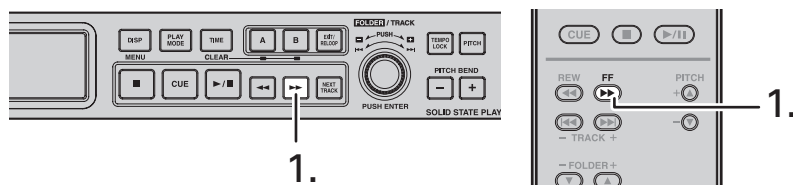
3. 本体の操作

早聴きしながら曲を検索するとき

- この機能を使うと、早送りまたは早戻しで曲の好みのポイントを探すことができます。
- 一時停止中に▶▶ ボタンを押すと一時停止状態は解除され、サーチ時の音声再生されます。

■ 早送りマニュアルサーチをするとき

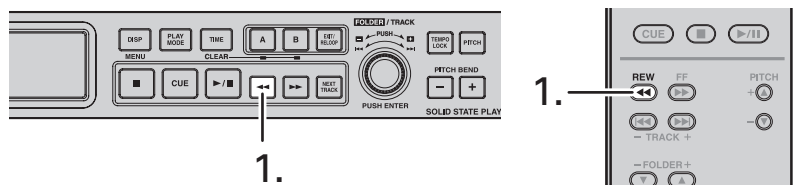
1. 再生中に▶▶ ボタンを押します。



- ▶▶ ボタンを1クリック(約1秒未満)押すごとに再生ポイントが1フレーム先に進みます。ボタンを長く押すと早送りになります。約2倍速、約10倍速、約40倍速と3段階で早送りスピードが切り替わります。

■ 早戻しマニュアルサーチをするとき

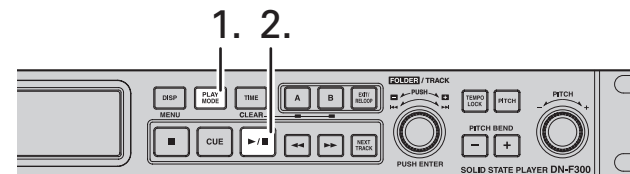
1. 再生中に◀◀ ボタンを押します。



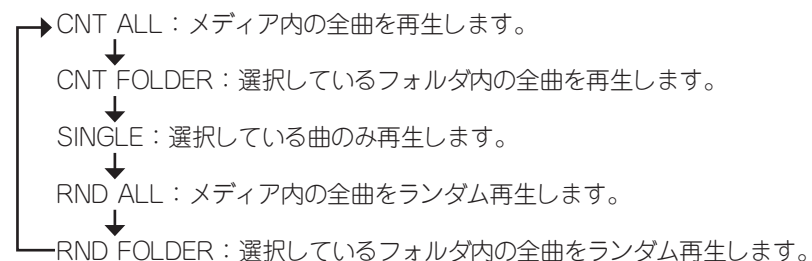
- ◀◀ ボタンを1クリック(約1秒未満)押すごとに再生ポイントが1フレーム前に戻ります。ボタンを長く押すと早戻しになります。約2倍速、約10倍速、約40倍速と3段階で早戻しスピードが切り替わります。

いろいろな再生

PLAYMODE ボタンによる再生



PLAYMODE ボタンを押すごとに再生する範囲やランダム再生モードが切り替わります。



(1) 全曲再生・全曲ランダム再生

1. **PLAY MODE** ボタンを押して、“CNT ALL”または“RND ALL”を選択します。
 - 全曲ランダム再生中はRANDOMインジケータが点灯します。
2. ▶ / || ボタンを押します。
 - 再生を開始します。

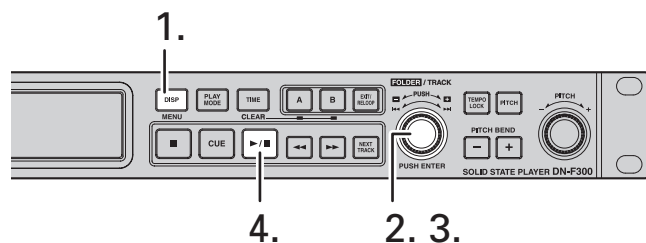
(2) フォルダ再生・ランダムフォルダ再生

1. **PLAY MODE** ボタンを押して、“CNT FOLDER”または“RND FOLDER”を選択します。
 - ランダムフォルダ再生中はRANDOMインジケータが点灯します。
2. ▶ / || ボタンを押します。
 - 再生を開始します。

(3) シングルトラック再生

1. **PLAYMODE** ボタンを押して、“SINGLE”を選択します。
 - SINGLE再生中はSINGLEインジケータが点灯します。
2. ▶ / || ボタンを押します。
 - 再生を開始します。

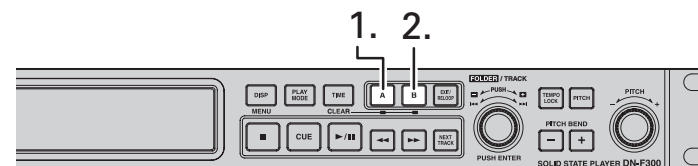
繰り返して聴くとき



各再生モードのリPEAT再生の設定ができます。(13ページ参照)

1. **DISP/MENU** ボタンを約2秒間押します。
 - プリセットメニューモードになります。
2. **FOLDER/TRACK** ジョグダイヤルで“Repeat Play”を表示させてから、ジョグダイヤルを押します。
3. ジョグダイヤルで“On”を選択し、ジョグダイヤルを押して確定します。
 - リPEAT再生が設定されます。
 - リPEAT再生を解除するときは、“Off”を選択し、押して確定します。
4. **▶ / ||** ボタンを押します。
 - リPEAT再生を開始します。

指定した2点間を繰り返して聴くとき(A-B区間リPEAT)



1. 再生中に、リPEAT再生を開始したい位置(Aポイント)で**A**ボタンを押します。
 - “A-”表示が表示部に点滅します。
 - Aポイント設定後、再生中に**A**ボタンを押すと、Aポイントから再生が始まります。
2. 再生中に、繰り返して再生を終了したい位置(Bポイント)で**B**ボタンを押します。
 - “A-B”と“RE”表示が点灯、“LOOP”が点滅し、A-B区間のリPEAT再生を開始します。
 - ランダム再生モードやリPEAT再生モード中にA-B区間のリPEAT再生の設定をおこなうと、それぞれのモードは一時解除状態になります。
 - A-B区間のリPEAT再生を解除するには、**EXIT/RELOOP**ボタンを押します。
 - A-B区間設定後 **■**ボタンを押すと、A-B区間リPEAT再生を解除します。
 - A-B区間のリPEAT再生を解除した状態から再び**EXIT/RELOOP**ボタンを押すと、A-B区間リPEAT再生を再開します。
 - A-B区間設定後、**TIME/CLEAR**ボタンを押しながら**A**または**B**ボタンを押すと、A-Bポイント、またはBポイントをキャンセルします。
 - Aポイントを設定したあと、**TIME/CLEAR**ボタンを押しながら**A**ボタンを押すと、Aポイントをキャンセルします。
 - A-B区間設定後、電源をOFFすると、A-B区間の設定をキャンセルします。
 - A-B区間をキャンセルしたあとは前の再生モードの状態になります。

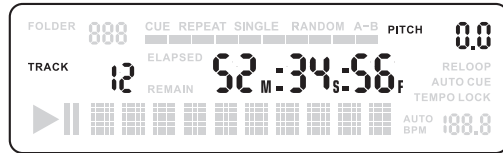
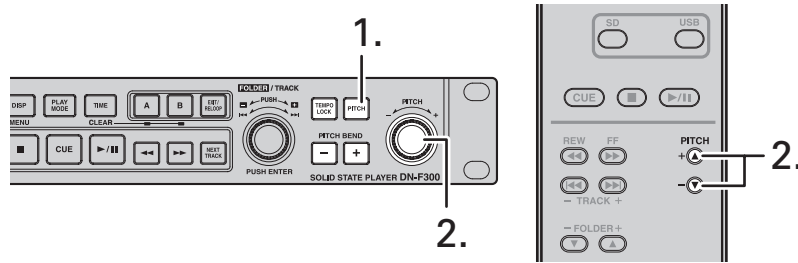
ご注意

- トラックがVBRで記録されているときはA-B区間の設定はできません。(表示部に「VBR」を約3秒間表示します。)

3. 本体の操作

ピッチを変えて再生するとき

ピッチコントロールを使うと再生時のスピードを速く(+)したり遅く(-)したりすることができます。



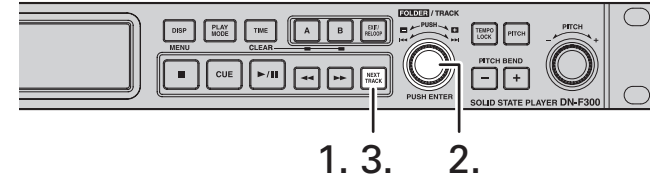
- PITCH ボタンを押します。
 - ピッチコントロールがオンになると PITCH ボタンが橙色に点灯します。
 - PITCH ボタンをもう一度押すと、ピッチコントロールはオフになり、PITCH ボタンが消灯します。
- PITCH ジョグダイヤルを回して、再生スピードを調整します。
 - 時計方向：再生スピードが早くなります。反時計方向：再生スピードが遅くなります。
 - 調整可能範囲：-20.0 ~ 0 ~ +20.0

その他の操作

- テンポロック
TEMPO ボタンを押すと、キーがロックされ音程が原音と変わらなくなります。
- PITCH BEND +/- ボタン
 - PITCH BEND +/- ボタンを押すと、一時的に再生スピードを変えることができます。
 - PITCH BEND + ボタンを押している間は、再生スピードを上げ、PITCH BEND - ボタンを押している間は、再生スピードを下げます。
 - PITCH BEND +/- ボタンから指を離すと元の再生スピードに戻ります。

ネクストトラックリザーブ

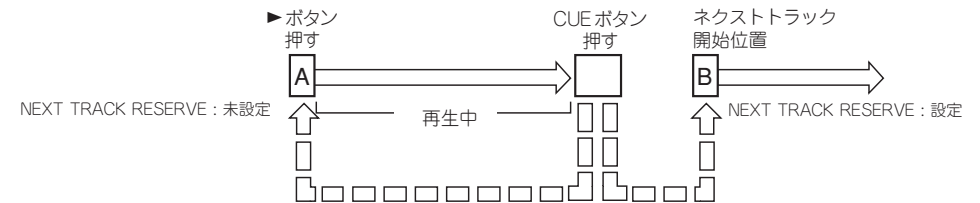
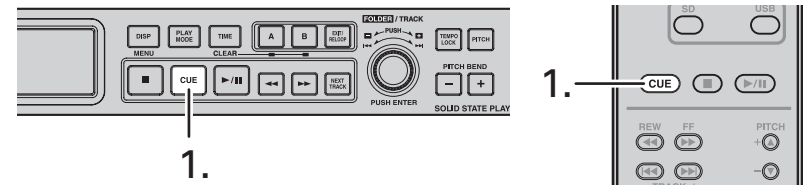
再生中に次の再生トラックを予約して、再生します。



- 再生中に NEXT TRACK ボタンを押すと、表示部に「Next Track」が2秒間表示され、次の再生トラックの予約状態となります。
 - NEXT TRACK ボタンが点灯します。
- FOLDER/TRACK ジョグダイヤルでフォルダおよびトラックを選択します。
 - フォルダ番号およびトラック番号を点滅表示します。
- NEXT TRACK ボタンを再度押すと、ネクストトラックリザーブは解除され NEXT TRACK ボタンは消灯します。

再生開始位置に戻る方法

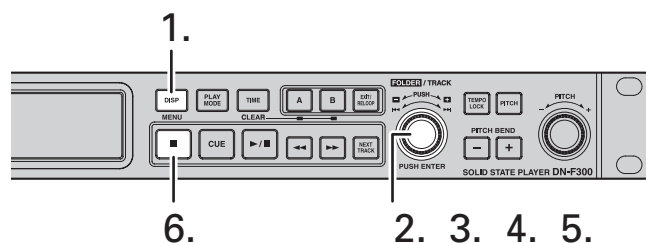
- 再生中に CUE ボタンを押すと、再生開始位置へ移動します。



- ネクストトラックリザーブを設定したとき：再生中に CUE ボタンを押すと、設定したトラック番号の先頭 (B 点) へ移動し、再生します。
- ネクストトラックリザーブを設定しないとき：再生中に CUE ボタンを押すと、▶ ボタンを押し始めた位置 (A 点) へ移動し、再生します。
- Auto cue 機能：再生中に CUE ボタンを押して再生開始位置へ移動したとき、移動先のトラックの先頭からの再生音を検知して、再生音の出始めの位置へ移動し、再生します。(13 ページ参照)

プリセット機能と操作

プリセットメニューの変更



1. 停止時に **DISP/MENU** ボタンを約2秒間押します。
 - プリセットメニューモードになります。
2. **FOLDER/TRACK** ジョグダイヤルを回して、変更したいプリセット項目を選択します。
 Power On ↔ Repeat Play ↔ Auto Cue ↔ MIC Mute ↔ Paging ↔ Mono
 ↔ Default (工場出荷設定) ↔ F/W Version
3. **FOLDER/TRACK** ジョグダイヤルを押して選択したプリセット項目を確定します。
 - 表示部に設定値を点滅表示します。
4. **FOLDER/TRACK** ジョグダイヤルを回してプリセット項目の設定値を選択します。
5. **FOLDER/TRACK** ジョグダイヤルを押すと設定が確定します。
 2から5までの操作を繰り返して設定をおこないます。
6. 設定完了後、**DISP/MENU** ボタンを押すと、設定を保存します。
 - 設定保存中は「Executing」を表示します。
 - 保存が終了すると、表示部LCDに「Completed」を1秒間表示し、保存が完了します。ただし、「F/W Version」を除きます。
 - プリセットメニュー中に **■** ボタンを押すと、設定内容がキャンセルされ、停止モードに戻ります。

プリセット項目と初期設定値の一覧表

番号	プリセット項目	設定項目	内容
1.	Power On	Play	パワーオン終了後、トラックの再生を開始します。
		Stop (初期設定)	パワーオン終了後、停止状態になります。
2.	Repeat Play	On	リピート再生を設定します。(11ページ参照)
		Off (初期設定)	リピート再生を解除します。
3.	Auto Cue	On	再生中にCUE ボタンを押して再生開始位置へ移動したとき、移動先のトラックの先頭からの再生音を検知して、再生音の出始めの位置へ移動します。(12ページ参照)
		Off (初期設定)	再生中にCUE ボタンを押したとき、移動先のトラックの再生音を検知せず、再生開始位置へ移動します。
4.	MIC Mute	On (初期設定)	マイク入力レベルが-60dBV以下のとき、自動でマイクの入力をミュートします。
		Off	マイクの入力をミュートしません。
5.	Paging	On (初期設定)	マイク使用時、再生中のオーディオの出力レベルを自動で20dBミュートします。
		Off	マイク使用時、オーディオの出力レベルをミュートしません。
6.	Mono	On	出力端子からLとRをミックスした信号を出力します。
		Off (初期設定)	出力端子からLとRの信号を出力します。
7.	Default	—	プリセット情報をデフォルト値(お買い上げ時の状態)に戻します。
8.	F/W Version	F/W Version (記録されない)	ファームウェアのバージョンを表示します。

4. トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、その前に以下の点をご確認ください。

1. 接続はすべて正しいですか？
2. システムコンポーネントはすべて、取扱説明書に従って正しく操作していますか？
3. スピーカやアンプが正しく動作していますか？

本機が正常に動作しない場合は、以下のリストについて症状をもう一度ご確認ください。チェックリストに該当する症状がない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、お近くの修理相談窓口または当社までご連絡ください。

現 象	表示内容	原 因	処 置
メディアを検出できない。	No Source	<ul style="list-style-type: none">• SDカードが正しく入っていない。• USBドライブが正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none">• メディアを入れ直してください。• USBを正しく接続し直してください。
対象ファイルがない。	No Track	<ul style="list-style-type: none">• 対象ファイルに不具合がある。	<ul style="list-style-type: none">• ファイルが正確に記録されているか確認してください。
メディアのエラー。	Unformat	<ul style="list-style-type: none">• 認識できないSDカードまたはUSBドライブが挿入された。	<ul style="list-style-type: none">• 正常に記録されている対応可能なメディアを使用してください。
FWD/RWDできない。	VBR	<ul style="list-style-type: none">• VBRファイルをFWD、RWDしている。	<ul style="list-style-type: none">• MP3ファイルを確認してください。
ファイルエラーが表示される。	TrackError	<ul style="list-style-type: none">• ファイルのフォーマット形式エラー。	<ul style="list-style-type: none">• ファイルのフォーマット形式を確認してください。
EEPROMエラーが表示される。	EEPROM Err	<ul style="list-style-type: none">• EEPROMへのRead/Writeエラー。	<ul style="list-style-type: none">• サービスに修理依頼してください。
バージョンアップエラーが表示される。	UpdateErr 1	<ul style="list-style-type: none">• バージョンアップのための動作ができない。	<ul style="list-style-type: none">• バージョンアップファイルを確認してください。
バージョンアップエラーが表示される。	UpdateErr 2	<ul style="list-style-type: none">• ROMへの書き込み失敗。	<ul style="list-style-type: none">• サービスに修理依頼してください。
内部エラーが表示される。	E XXXXXXXX	<ul style="list-style-type: none">• 内部エラーが発生したとき。	<ul style="list-style-type: none">• サービスに修理依頼してください。

※注意：USB HDDによっては正常に起動できない場合があります。

5. 主な仕様

■ システム

- 再生メディア： SDカード/SDHCカード、USBデバイス
- 再生ファイルフォーマット： WAV、MP3(MPEG-1 Layer III)
- 再生メディアフォーマット： FAT/FAT32
- MP3ビットレート： 32-320 kbps/Stereo、VBR
- サンプリング周波数： 44.1 kHz
- 量子化ビット数： 16 bit

■ オーディオ部

- 音声チャンネル： 2チャンネルステレオ/モノラル
- 周波数特性： 20～20,000Hz ± 1.0 dB
- ダイナミックレンジ： 96 dB
- SN比： 97 dB (1kHz、0 dB再生、A filter)
- チャンネルセパレーション： 89 dB (1kHz、0 dB再生)
- 全高調波歪率： 0.006% (1kHz、0 dB再生)
- アナログアンバランス出力(RCA)レベル(負荷)/出力インピーダンス： 2.0Vrms(10kΩ)0dB/1kΩ(出力レベル調整最大)
- マイク入力感度/入力インピーダンス： -38dBV/10kΩ(入力レベル調整最大)
- ヘッドホン出力： 20mW/32Ω(出力レベル調整最大)
- ピッチコントロールの可変範囲： ±20.0%(0.1%ステップ)
- フレームサーチ精度： 1/75秒

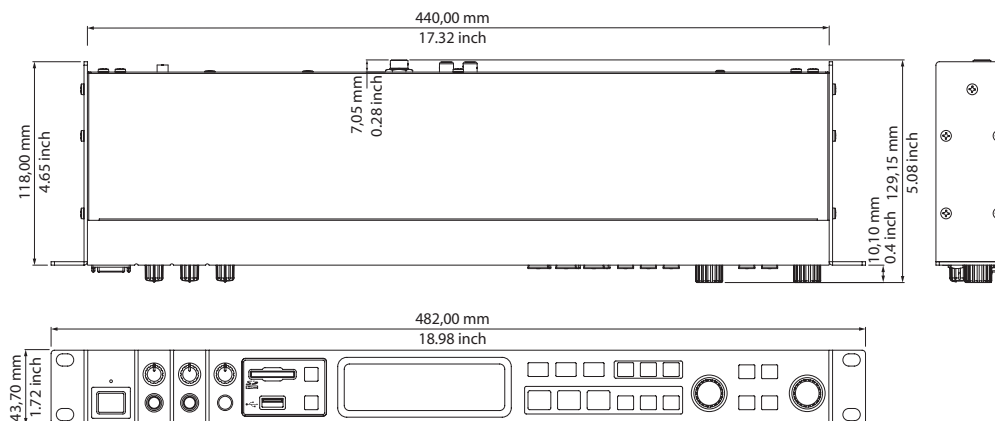
■ 一般

- 電源： DC6V
- 消費電力： 12 W
- 質量： 1.6kg
- 最大寸法： 482(幅)×44(高さ)×129(奥行き)mm

■ 環境条件

- 許容動作温度： +5℃～+35℃
- 許容動作湿度： 25%～85%(結露のないこと)
- 許容保存温度： -20℃～+60℃
- 許容保存湿度： 25%～85%(結露のないこと)

■ 外観寸法図



ご注意

- フォーマット、録音状態などにより、再生できないことがあります。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先(サービスセンター)については、
次のURL でもご確認できます。

<http://www.dm-pro.jp>

